

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年3月8日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2. (2)、下段になります。3月12日火曜日、(2) 第692回の審査会合が午後に開催される予定でございます。議題、審査の対象は3件予定されております。

まず、1件目といたしまして、東北電力・女川原子力発電所2号機につきまして、許可に関する新規制基準適合性に関する審査が予定されております。内容は、耐津波設計の方針についてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、2件目といたしまして、中部電力・浜岡発電所3号機について、こちらは海水系配管ゴム伸縮継ぎ手の交換に関します工事計画認可についての審査でございます。こちらは、前回に続いてのコメント回答の予定でございます。

次に、3件目といたしまして、九州電力・玄海発電所3号機及び4号機についての審査が予定されております。内容は、リラッキング及び乾式貯蔵についての許可についての審査でございます。これらについて、一体で審査を進めていくという方針が委員会で示されており、それに基づいて審査を進めているところでございます。今回は2回目の審査ということになります。

次に、2ページ目上段、(3) 第264回の核燃料施設等に関する審査会合が同日3月12日の、こちらにも午後に開催される予定でございます。議題は、記載されておりますように、三菱原子燃料株式会社（加工施設）の設工認に関する審査でございます。こちらは分割申請がなされて、それに応じて審査が進められておりまして、今回の審査は2月10日に申請があった分についての初回の審査ということになるものであります。

次に、その下、(5) 第2回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合、こちらにも同日でございます。開催される予定でございます。議題は、記載のとおり、原子力研究開発機構の人形峠環境技術センター加工事業に係る廃止措置計画の認可についての審査でございます。こちらは昨年12月に続いての2回目の審査ということになります。これまでの指摘への回答などを踏まえての審査が予定されております。

次に、2ページ目の下段になります。3月14日木曜日、(7) 第27回東海再処理施設等安

全監視チームが午前中に開催される予定でございます。こちらは、記載されております2件の議題が予定されています。

まず、核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第二開発室におけます管理区域内汚染の問題についての審議が予定されております。前回、2月末ですが、この事象に対応した第1報について、報告を聞いております。今回、そのアップデートされた内容について報告を聞くとともに、是正措置についての審議・議論が行われる予定でございます。

次に、議題2といたしまして、原子力科学研究所廃棄物処理場のドラム缶の健全性確認についての審議・審査が引き続き行われる予定であります。こちらは健全性確認の期間の短縮について、また、処分の合理化について、検討・議論が進められてきているところでございます。年度内に計画の策定が予定されているということでございまして、その状況などについて、説明をお聞きするという予定でございます。

次に、3ページ目でございます。上段、3月15日金曜日、(9)第4回原子炉安全基本部会・第22回核燃料安全専門審査会、こちらが午前中に開催される予定でございます。いわゆる炉安審、燃安審の関係の会合でございます。議題は、記載されております4件が予定されております。

まず、議題の1件目といたしまして、検査制度の見直しに関する検討状況ということで、試運用の状況を説明し、フェーズ2の試運用に向けて御意見、御議論をいただく予定でございます。

次に、議題2といたしまして、検査制度の見直しに対応する体制整備のあり方ということで、人材育成の体系、資格認定の仕組みなどについて、議論をいただくという予定でございます。

次に、議題の3番目といたしまして、IRRSにおいて明らかになった課題への対応方針ということで、対応状況を整理して御報告し、炉安審、燃安審において御意見、御議論をいただくという予定でございます。

最後に、議題4といたしまして、スクリーニングと要対応技術情報の状況についてということで、こちらは新しい知見、あるいはトラブル情報を踏まえて、規制対応の要否につきましてスクリーニングを行うということを通常のプロセスとして進めております。その状況について、報告をするということを予定してございます。

次に、その下、(10)第144回の放射線審議会の総会が同日午後で開催される予定でございます。議題は、記載されております2件が予定されております。

まず、議題の1つ目といたしまして、昨年、意見具申がございました「眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について」、こちらの意見具申を踏まえた関係省庁における検討状況、取組状況などについて、整理をしたものを報告するというを予定してございます。

次に、議題の2件目といたしまして、ICRP2007年勧告の受け入れについてということで、

その中で、女性の放射線業務従事者等に対する線量限度に関する問題につきまして、現状報告、また、ヒアリング等を行って、審議をいただくということを予定してございます。

私からの御説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますか。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

更田委員長の会見の中で出てきました六ヶ所の再処理施設についての論点整理と申しますか、課題についての議論というのは、委員会でやるというような方向性を、この間、お話しになったと思うのですけれども、委員会の中で改めてそういう議論をしたいというお話だったと思うのですけれども、その点についての日程感というのはありますでしょうか。

○大熊総務課長 先日水曜日の委員長の会見で更田委員長のほうから、六ヶ所再処理についての審査、現在、内部で検討しているところだけでも、一定の公開のところでは何か議論する必要があるのではないかとということを考え始めているというお話をしたかと存じます。まさにそのお話をさせていただいた状況でございまして、それをどのような形で行うのか、また、そもそも行うのかどうかを含めて現在検討がなされているところでございまして、済みません、まだ申し上げられる予定等はございません。

○司会 ほか、ございますか。デミズさん。

○記者 読売新聞のデミズです。

放射線審議会の議題2のところの確認なのですが、現状報告とヒアリングを行って、審議するとあるのですが、これは、ヒアリングというのは、どなたか来られて何か説明をされるのでしょうか。

○大熊総務課長 こちらは、議題にございます女性の放射線業務従事者等に関する線量限度の問題、以前の放射線審議会でも、この論点について今後検討していくということで整理されております。今回は現状ということで、勧告の内容とか現在の我が国の制度の状況などをまず整理して報告し、その後、有識者の方からお話を伺うということで、医療関係の大学の有識者の方にお越しいただくことを今調整していると、その方針でございまして。また、それに加えて、関係する機関で行っておりますアンケートがございまして、そうしたアンケートの内容・結果についても御報告をして、審議をいただくということを、現時点では想定しているところでございます。

○司会 それでは、イワマさん。

○記者 毎日新聞のイワマです。

同じくなのですけれども、基本的なところで申しわけないのですが、放射線審議会の議題2につきまして、こちらについては、既に勧告を取り入れる方針というのは定まっている中で、こうした取り組みが進んでいくという位置づけでよろしかったでしょうか。

○大熊総務課長 2007年の勧告というものを、全体として取り入れを行っていくという方針があるというふうに承知をしております。その中で、幾つか検討すべき課題があるということ、こちらは昨年6月の審議会で整理をしておりますけれども、その1つとして、この女性の従事者における線量限度の課題があるということで整理をしております、それについて今回議論を行うと。今回で終わりということではなくて、今後、何回か議論をしていくことになるというふうに承知をしております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 それでは、よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—